

LTE基地局の建設・保守をサポート

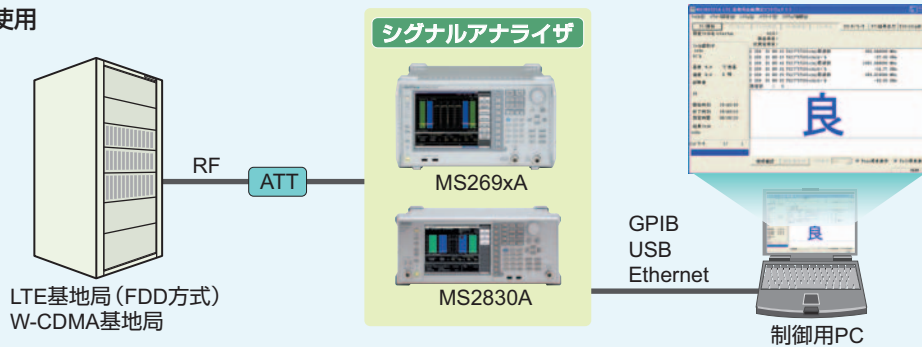
MX703721A

LTE基地局 自動測定ソフトウェア

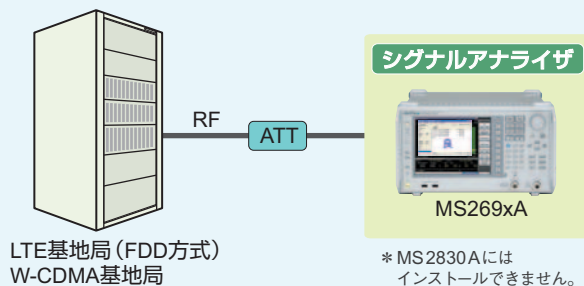
- LTE FDD方式の基地局の送信試験を簡単な操作で自動測定するソフトウェア*。
- MS2690A/91A/92A (以下MS269xA) またはMS2830Aに対応。
- FastモードによりTXスプリアスエミッション測定を高速に測定可能。
- MS269xAでは、制御用PCが不要。(version 1.5から対応)*
制御用PCと同様の操作で、自動測定が可能。
- W-CDMA基地局の測定機能もサポート。(MX703721A-010オプション)
* USBキーボード/マウスが必要です。

構成

● 制御用PC使用



● MS269xA使用



測定項目

LTE基地局	W-CDMA基地局
LTE サマリー	最大送信電力
最大送信電力	コードドメイン
占有周波数帯幅	P-CPICH電力/周波数
隣接チャンネル漏洩電力	占有周波数帯幅
送信周波数/変調精度	隣接チャンネル漏洩電力
TXスプリアスエミッション	送信周波数/変調精度
	TXスプリアスエミッション

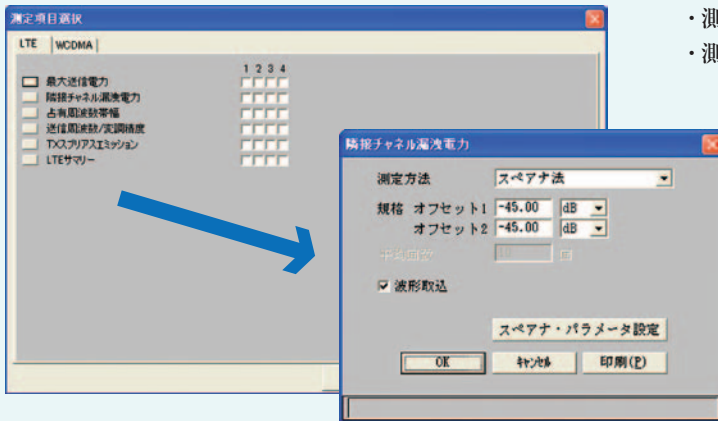
- LTE基地局の建設/保守に必要な測定項目をサポート
- MX703721A-010 W-CDMA測定オプションの追加により、LTE基地局とW-CDMA基地局の送信試験が可能

オーダリング・インフォメーション(抜粋)

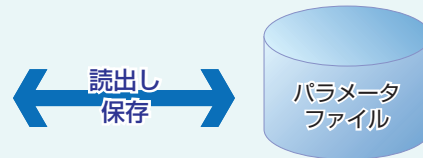
詳細は、製品紹介を参照ください。

形名	品名
	-自動測定ソフトウェア-
MX703721A	LTE基地局 自動測定ソフトウェア
MX703721A-010	W-CDMA測定オプション
	-本体-
MS2691A	シグナルアナライザ (50Hz~13.5GHz)
MS2830A-043	13.5GHzシグナルアナライザ (9kHz~13.5GHz)
	-ソフトウェアオプション-
MX269020A	LTE ダウンリンク測定ソフトウェア (MX703721Aに必須)
MX269030A	W-CDMA BS測定ソフトウェア (MX703721A-010オプションに必須)

測定条件のカスタマイズ

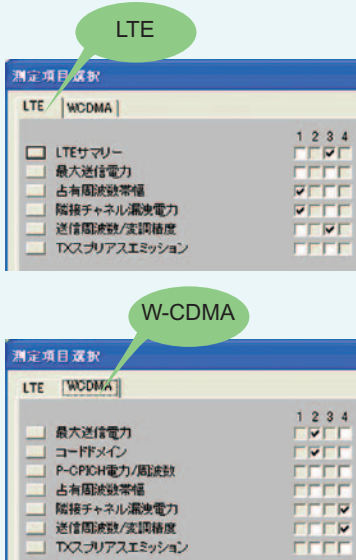


- ・測定項目ごとに測定条件を設定可能。
- ・測定条件は、ファイルに保存/読出し可能。



* W-CDMA測定は、オプション010が必要です。

LTE基地局とW-CDMA基地局の連続測定



- ・搬送波周波数 (Ch1~4) ごとに、実施する測定項目を指定可能。
- ・LTE測定項目とW-CDMA測定項目を連続して測定可能。

①	LTE	Ch1	占有周波数帯幅
②	LTE	Ch1	隣接チャネル漏洩電力
③	W-CDMA	Ch2	最大送信電力
④	W-CDMA	Ch2	コードドメイン
⑤	LTE	Ch3	LTE サマリー
⑥	LTE	Ch3	送信周波数/変調精度
⑦	W-CDMA	Ch4	隣接チャネル漏洩電力
⑧	W-CDMA	Ch4	送信周波数/変調精度

* W-CDMA測定は、オプション010が必要です。

Fastモードによる高速掃引

シグナルアナライザのFastモードにより、最大6倍の高速掃引を実現し、スプリアス測定などの測定時間を短縮します。

Fastモード：掃引を早くすることで生じる誤差をシグナルアナライザ内部で補正することにより、測定確度を保ったまま高速化を実現します。

LTEサマリー測定

MX269020 A LTE ダウンリンク測定ソフトウェアのサマリー機能により、最大送信電力、送信周波数/変調精度、RSパワーの各測定を一括で測定します。